

令和4年

「あやべ観光デジタルフォトコンクール」

総評：今回は作品応募者数が少し増え、12歳から86歳までの広い年代層の方から力作が寄せられました。行動が自由になり撮影の機会が増えたことで、カラフルで力強い作品も多く、審査にも熱が入りました。好奇心と行動力、そして撮影テクニックも磨きながら、次の応募へ向けて取り組んでください。

中田昭（公社・日本写真家協会 会員）

●大賞・綾部市長賞

「大きなシャボン玉できたよ」

晴れ渡った空と、バックの風景との組み合わせも力強く、斜光線がシャボン玉や人物を立体的に浮かびあがらせた。左端のシャボン玉も、画面に連続性を生んでいるとおもいました。ストレートな撮影ですが、上手く画面構成されていると感心しました。

●特選 綾部商工会議所賞

「秋の清流」

カメラポジションを低くして、川の流れを大胆に入れて迫力ある画面になっています。熟練度と冷静な判断でまとめた秀作です。

●特選 綾部市文化協会賞

「由良川冬景色」

墨絵のような白一色の雪景色と橋梁の形の組み合わせ。静かな風景の中に一隻のカヌーがポイントとなって目に飛び込んできました。

●特選 京都新聞賞

「夢のトンネル」

イルミネーションが雨に濡れた道に反射し、人物シルエットの動感も効果的です。雨がきっかけあげた美しい景色をタイミングよくローアングルで捉えています。

●特選 あやべ市民新聞社賞

「光跡」

円山古墳は、写真のテーマとして多く応募されていますが、この作品は夕暮れ時のカーブになった車の光跡との組み合わせで迫力が出ました。山の稜線や人家の灯りも効果的です。

●特選 京都府観光連盟賞

「あやべ」

青空と雲、大きくひろがった展望風景。あやべの自然の豊かさを一枚の写真で表現した爽快感あふれる作品で、人物の位置や動きもマッチしています。

●入選

「朝光」

朝の光を受けて逆光に浮かぶコスモス。雲のトーンも美しく、遠景の教会のシルエットの位置も効果的で、目がひきよせられていきます。

「朝の木漏れ日」

まさに見頃の水源の里に咲くミツマタ。撮影のタイミングや、撮影位置も的確でした。平凡になりがちな画面ですが、強い太陽の光が効果的でした。

「梅の落花道」

まさに夢のような風景ですね。ベストタイミングな撮影時期ですが、何か一点、ポイントとなるような工夫が加わるとさらに良かったと思います。

「雲海の彼方」

遠景のかすむ雲海風景と、中景や手前の紅葉との重なりで、メリハリの効いたスケール感の大きい作品となりました。

「風車の虹」

シンプルな対角線構図で、風車を虹になぞらえた作品ですが、画面左側を少しトリミングすると、大きくひろがった空をもっと強調できたと思います。

「つむぎのおばちゃん」

静かに料理の準備する女性の姿に、食の豊かさや優しさなどを感じました。外の風景の明るさやフライパンから上る湯気も効果的です。

「大花火」

見上げた空に大きく広がる花火の軌跡。作者の思いが凝縮されたような作品ですが、次回は道路標識の位置などの工夫をすると良いでしょう。

「紅の城址」

昼間だったら平凡な紅葉風景になる場所を、朝の色温度の高い時間帯に撮影されたので、爽快感あふれる色彩になったと思います。

「ママ♡だいすき♡♡～娘がコスモスの花束を～」

逆光に照らされた、花ビラの透過光が効果的です。お子さんの表情をあえて出さなかったので、花に込めたママへの愛情がストレートに伝わってきます。

「どこでもドア」

夏の空と雲、ドアや白い服の組み合わせ。柔らかな光に包まれたお母さんとお子さんの姿が自然体で微笑ましく感じられました。